

基本目標	基本目標達成を支える基盤整備	数値目標	-	-
			-	-

施策No.	基本的方向	評価実施年度		
13	市民交流拠点の整備など市民の文化活動が活発に行える場を充実し、文化活動に参加する市民を拡大します。	2025	R07	
具体的な施策	県立三崎高等学校跡地について、市民交流センターや図書館等の公共的機能と民間施設から成る「市民交流拠点」として利活用を図るため、民間事業者と協働し段階的に整備します。	評価担当部課	市長室 上下水道部 下水道課	
事業名	市民交流拠点整備事業 市民交流拠点整備事業（道路整備） 市民交流拠点整備事業（公共下水道整備）	事業費	年度	事業費予算額 (千円)
				事業費決算額 (千円)
				予算執行率
			R03	205,663
			R04	145,820
			R05	167,597
			R06	843,889
			R07	2,272,923
			計	3,635,892
				166,123
				43.5%
				0.0%
				787,760

内部評価（1次評価）					
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫 (実 績)	<p>1：市民交流拠点整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立三崎高等学校跡地B2地区における三浦市市民交流拠点整備事業公共施設建設工事（設計・施工一括）について、設計業務が完了した。 ・工事に必要な許認可を受け、令和6年9月20日から地区内の地盤整備工事に、令和7年2月17日から市役所等の建築工事に、それぞれ着手した。 ・なお、令和7年1月22日に変更工事請負契約を締結した。主な変更は以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ①契約金額の増額 工事内容の変更、賃金水準及び物価水準の変動等に伴うもの。 ②工期の延長（当初：令和8年3月13日まで 変更後：令和8年11月13日まで） 建設現場における4週8閉所の厳格化等によるもの。 ・また、民間施設等整備用地に関する定期借地権設定契約の締結に向けて、事業者等と協議を行った。 <p>2：市民交流拠点整備事業（道路整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立三崎高等学校跡地B2地区における市道473-3号等の延伸整備等について、令和6年8月中旬に工事着手した。 ・先行して行っている下水道工事の遅れの影響を受け、当初工期（令和7年3月31日まで）を約3か月延長することとなった。 <p>3：市民交流拠点整備事業（公共下水道整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該地域を下水道事業計画区域に位置づけ、公共下水道施設の設置工事に着手した。 				
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果				
	No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名
1	市民交流拠点整備事業	公共施設建設に関する設計の完了：1件 公共施設建設に関する工事の着工：1件 民間施設等整備用地に関する定期借地権設定契約の締結：0件	2	市民交流拠点整備事業（道路整備）	引橋地区市道473-3号線外道路整備工事の完了：0件
3	市民交流拠点整備事業（公共下水道整備）	公共下水道施設設置工事の完了：0件	4		

KPIの進捗状況						
年	KPI①		KPI②		KPI③	
	三崎高校跡地B地区の整備に向けた進捗	備考		備考		
H29	-	実績値				
H30	-	実績値				
R01	-	実績値				
R02	-	実績値				
R03	未実施	実績値				
R04	事業者募集	実績値				
R05	事業者契約	実績値				
R06	(基盤整備の工事実施)	実績値				
R06	基盤整備の工事実施	目標値				
R07	事業者による工事着工	目標値				
達成状況	○					
KPIの分析	KPI① ・令和6年度の目標値としていた基盤整備の工事実施については、予定どおり進捗した。 ・また、令和7年度の目標値としていた新庁舎等の工事着工を令和6年度中に達成した。					
KPI達成に向けた改善策・手法と	KPI達成に向けた課題 1：市民交流拠点整備事業 ・民間施設等のテナント及び当該民間施設等の整備を行う事業者を早期に決める必要がある。 2：市民交流拠点整備事業（道路整備） ・工期延長が生じないよう、他の関連工事との調整を図る必要がある。 3：市民交流拠点整備事業（公共下水道整備） ・製品納入及び地元調整に時間を要したため、令和6年度中に公共下水道施設の設置工事が完了できなかった。					
	今後行う改善策・手法 1：市民交流拠点整備事業 ・工程管理を綿密に行い、変更工期（令和8年11月13日）までに新庁舎等の建設工事を完了し、市役所等の移転に取り組んでいく。 ・民間施設等整備用地に関する定期借地権設定契約の締結に向けて、事業者と連携・協力して取り組んでいく。 2：市民交流拠点整備事業（道路整備） ・他の関連工事との調整を図り、工期内に道路工事を完了させる。 3：市民交流拠点整備事業（公共下水道整備） ・地元調整を早急に行い、令和7年6月までに、公共下水道施設の設置工事を完了させる。					

内部評価結果	
施策の 評価	5 目標達成しています。

外部評価（2次評価）		
施策の 評価	5 目標達成しています。	<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の供用開始にあわせて図書館の完成ができるよう民間施設建設の調整を進めてもらいたい。

基本目標	<p>基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」 就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。 また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。</p>	数値目標	<p>個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人 【R03実績】16,113人 【R04実績】15,956人 【R05実績】15,944人 【R06実績】15,814人</p>
------	--	------	---

施策No.	基本的方向	評価実施年度				
2	<p>市内への企業誘致に取り組むとともに、新規や既存の事業者の経営支援や企業間交流の機会づくりなど、営業を継続しやすい環境を整備し、事業活動の活性化を図ります。</p>	2025	R07			
具体的な施策	<p>新たな雇用創出と地域の活性化を目的とした「三浦市二町谷地区海業振興を目指す用地活用プロジェクト」に基づき、事業者による事業が円滑に進むよう、引き続き事業者と連携を図っていきます。 旧三崎中学校跡地等城山地区事業用地の利活用に向けた取組を進めます。 また、営業の継続による地域経済の活性化を図るため、創業や事業承継を支援するためのセミナーの開催や相談対応を行うとともに、中小企業の経営健全化と事業拡大による市内経済の活性化を図るため、神奈川県中小企業制度融資を受けた事業者に対し、補助を行います。</p>	評価担当部課	市長室 経済部 もてなし課			
事業名	<p>企業等誘致プロモーション事業 城山地区利活用事業 創業・事業承継等中小企業支援事業</p>	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			R03	20,371	5,471	26.9%
			R04	16,248	13,153	81.0%
			R05	3,651	1,469	40.2%
			R06	1,419	746	52.6%
			R07	916		
			計	42,605	20,839	/

内部評価（1次評価）						
R6年度の主な取組と工夫（実績）	<p>1：企業等誘致プロモーション事業 ・二町谷地区における海業プロジェクトを推進するため、海の玄関口として整備した二町谷浮棧橋と事業用地を繋ぐ西側荷捌き施設等の活用手法等について関係機関との協議を行うとともに、事業者と共催でPRイベントを実施した。</p> <p>2：城山地区活用事業 ・令和5年度に売却が完了した旧三浦市福祉会館と旧三崎中学校校体育館の利活用に向け、建物の用途変更等に関する支援を行った。</p> <p>3：創業・事業承継等中小企業支援事業 ・三浦商工会議所や地域金融機関等と連携して、創業を希望している方や創業後間もない方等を対象とした「創業応援セミナー」を開催した。（参加者11名） ・また、横須賀市等と連携して、事業承継を控えた若手後継者、創業希望者や創業後間もない方を対象とした「新規事業開発無料セミナー」を開催し、事業承継の推進、創業の支援を図った。（三浦市に事業所がある参加者2名） ・創業支援等事業計画に基づき、国・県・市の支援施策の紹介や商工会議所等の支援機関の紹介を行った。また、特定創業支援等事業の要件を満たした者を市が証明することで、会社設立時の登録免許税軽減等の様々な支援を受けることができる制度を、相談の際や市ホームページで周知し、証明の発行を行った。 ・神奈川県信用保証協会の保証を受けて、小規模クイック融資、小口零細企業保証資金、創業支援融資及び事業承継関連融資を受けた事業者に対し、払い込んだ信用保証料の1/2（限度額あり）を補助し、中小企業者が融資を受けやすい環境づくりを行い、経営の健全化を図った。</p>					
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
	No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	企業等誘致プロモーション事業	西側荷捌き施設等の活用に向けた関係機関との協議実施：1件	2	城山地区利活用事業	事業者が行う用地利活用の支援：1件	
3	創業・事業承継等中小企業支援事業	セミナーの開催：2回 補助金交付：17件	4			
5			6			

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	二町谷埋立地の企業立地達成状況(多目的活用事業用地)	備考	二町谷埋立地の企業立地面積割合(水産関連施設事業用地)(%)	備考	市内に市が関与して新たに創出する創業者数(件)	備考	
H29	-	実績値	6.5	実績値		実績値	<p> KPI②・③ (%) (件) </p> <p> ● 二町谷埋立地の企業立地面積割合(水産関連施設事業用地)(%) ■ 市内に市が関与して新たに創出する創業者数(件) </p>
H30	-	実績値	21.8	実績値	1	実績値	
R01	-	実績値	25.6	実績値		実績値	
R02	-	実績値	61.3	実績値	2	実績値	
R03	浮棧橋の供用開始及び事業者による北公園の整備	実績値	100.0	実績値	2	実績値	
R04	事業者による浮棧橋の管理棟設置	実績値	100.0	実績値	5	実績値	
R05	事業者によるPRイベントの開催	実績値	100.0	実績値	5	実績値	
R06	事業者による小規模宿泊施設の工事未着工	実績値	100.0	実績値	4	実績値	
R06	事業者による小規模宿泊施設の工事着工	目標値	63.6	目標値	1	目標値	(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)
R07	事業者による小規模宿泊施設の開業	目標値	83.9	目標値	1	目標値	
達成状況	×		○		○		
KPIの分析	KPI① ・建設費の高騰等により、多目的活用事業用地における施設整備着工には至らなかった。 KPI② ・水産関連事業用地では、令和3年度中にすべての用地について契約を締結した。 KPI③ ・8か所の創業支援機関のうち、ワンストップ相談窓口である三浦商工会議所外4機関において、1か月以上にわたり4回以上、経営・財務・人材育成・販路開拓の支援を受け、創業支援カルテで確認できる者を特定創業支援等事業の要件を満たした者として三浦市が証明書を発行している。 ・証明書を発行することで、会社設立時の登録免許税軽減等の様々な支援を受けることができるが、相談の際や市ホームページでの周知に努めた結果、この制度を利用して創業する者が5年度実績に近い実績となった。						

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	KPI達成に向けた課題 1：企業等誘致プロモーション事業 ・二町谷地区多目的活用事業用地における企業立地を推進する必要がある。 2：城山地区利活用事業 ・令和5年度に売却した事業用地の利活用を推進する必要がある。 3：創業・事業承継等中小企業支援事業 ・セミナーや補助を継続的に実施すること。
	今後行う改善策・手法 1：企業等誘致プロモーション事業 ・事業者と二町谷地区多目的事業用地の宿泊施設等の整備に向けたスケジュールの協議を行うとともに、事業が円滑に進むよう必要な支援を行う。 2：城山地区利活用事業 ・継続して、事業が円滑に進むよう必要な支援を行う。 3：創業・事業承継等中小企業支援事業 ・引き続き、三浦商工会議所、地域金融機関及び神奈川産業振興センターと連携し、創業支援と事業承継に関する相談窓口の充実を図るとともに、横須賀市と共同で、市内の事業者、事業継承予定者、創業者が新規事業を実現させるためのセミナー「Yomiivo 2025」を開催する。 ・中小企業の経営健全化、事業の拡大、雇用の創出及び継続のため、神奈川県信用保証協会の保証を受けて小規模クイック融資、小口零細企業保証資金、事業承継関連融資、創業支援融資、事業振興融資を受けた事業者に対し、信用保証料の一部を助成する信用保証料補助を実施する。
内部評価結果	
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主 な 意 見 ・できる限りオープンに市民に情報を周知することを念頭にした取組をお願いします。

基本目標	<p>基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」</p> <p>就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。</p> <p>また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。</p>	数値目標	<p>個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人</p> <p>【R03実績】16,113人</p> <p>【R04実績】15,956人</p> <p>【R05実績】15,944人</p> <p>【R06実績】15,814人</p>
------	--	------	---

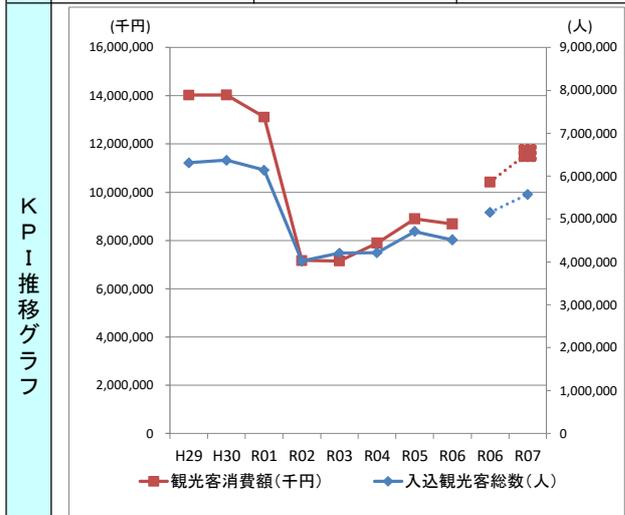
施策No.	基本的方向	評価実施年度				
1	<p>農業、漁業、観光業の連携による観光振興や三浦ブランドの開発など、市内外の事業者の取組みや、異業種間の交流を支援し、6次経済の構築を進めます。</p> <p>市外での物産展出演や市内での各種イベントの開催等のシティ・セールス実践活動により三浦市の魅力を発信するとともに、集客力をさらに向上させます。</p> <p>もてなしをテーマとする人材育成や市民活動を促進し、もてなしの活動に協力・参加している市民を増やします。</p> <p>観光施設、回遊ルート、観光案内表示板等の集客に必要な環境や、駐車場や公衆トイレ等の便利で快適な環境を適切に維持・向上させ、集客力をさらに強化します。</p>	2025	R07			
具体的な施策	<p>入込観光客数、観光客消費額を増加させ、観光の産業化・雇用創出を図るため、新たな観光資源の開発・創造、戦略的な営業の実施、観光の核づくりを推進する城ヶ島西部地区再整備に必要な支援を行うとともに各種イベントの実施（三浦国際市民マラソン、みうら夜市、海の駅うらりを活用したイベント、ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会など）、インフラ整備（観光解説板整備等）などを行います。</p>	評価担当部課	<p>経済部 観光商工課 もてなし課 海業水産課</p> <p>市長室</p>			
事業名	<p>海業推進事業 みうらシティ・セールス事業 みうらの魅力発信事業 観光の核づくり推進事業 観光の核づくり推進事業（道路） 地域観光振興・情報発信事業 観光団体支援事業 観光解説板整備事業 三崎下町地区駐車場対策事業 観光インフォメーションセンター管理事業 観光の核づくり推進事業（広場）</p>	事業費	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
			R03	49,345	43,992	89.2%
			R04	337,702	318,745	94.4%
			R05	345,549	241,760	70.0%
			R06	216,166	169,378	78.4%
			R07	133,357		
			計	1,082,119	773,875	/

内部評価（1次評価）	
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫	<p>1：海業推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の駅の魅力・まちの魅力を広域的に発信することを目的として㈱三浦海業公社が実施する「みうら・みさき海の駅“うらり”セールスプロモーション」を支援した。 ・うらりマルシェを拠点とするイベントとしては、海業発祥のまちとして情報発信を行う「海業フェスタ @みうらみさき海の駅」が開催され、他にもうらりマルシェのデッキを活用した集客イベントが開催された。 ・また、姉妹都市である須坂市や道の駅・海の駅との連携による集客プロモーションイベントが実施された。 ・（一社）みうら学・海洋教育研究所と連携により、市内の小中学生が海に親しむ機会の創出に取り組み、市内の小中学生が三浦市の海の魅力を再発見するとともに、海の魅力を発信する市民の増加を図り、海の駅「うらり」のみならず、三浦市の魅力の発信力の強化が図られた。 <p>2：みうらシティ・セールス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行向けのパンフレットを見直し、一般客向けの料金も併記することとした。 ・このことに伴い、教育旅行を扱う支店以外にも対象を広げて、資料送付を行った。 ・教育旅行受入れ167校（前年度152校 前々年度129校） <p>3：みうらの魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 【ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会】 ・横須賀市津久井浜海岸で開催される「ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」の実行委員会に参画し、大会を開催した。（会場来場者数33,000人） 【地場産品消費拡大】 ・市外、県外の消費者にまぐろ・野菜等の三浦市の特産品を広く宣伝するため、三浦市地場産品消費拡大協議会と連携して物産展に参加した。 【みうら夜市】 ・港町三崎・夏の風物詩として定着した「みうら夜市」について、前回台風により中止になったことや、近年の酷暑を踏まえ、開催時期を10月に変更して5年ぶりに開催した。 ・「昭和レトロ港町灯りのイベント～灯ろうナイトウォーク」を同時開催し、両イベントの相乗効果を図った。（来場者数32,000人） 【三浦国際市民マラソン】 ・全国から参加されるランナーや応援の方々を心から歓迎し、大会を開催した。（来場者数73,000人） 【三崎木遣みこしパレード】 ・第3回目となる「三崎木遣みこしパレード」に協力、支援し、下町全体が賑わいと活気に満ちた一日となった。（来場者数4,500人） <p>4：観光の核づくり推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二町谷地区における海業プロジェクトを推進するため、事業者と共催でPRイベントを実施し、全長100フィート以上のスーパーヨットを誘致した。 <p>5、11：観光の核づくり推進事業（道路、広場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業版ふるさと納税を活用し城ヶ島西部地区のまちづくりを推進した。 【道路】 ・市道1530号拡幅整備に必要な用地取得に向けた協議を行い、合意に至った用地1箇所を取得した。 ・市道1530号拡幅整備工事を2箇所実施した。 【広場】 ・広場整備に必要な用地取得について、地権者である神奈川県との協議に時間を要し、用地取得には至らなかった。 ・これに伴い、設計業務は未実施とした。 <p>6：地域観光振興・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光行事では、道寸祭り、みさき白秋まつり、三浦海岸納涼まつり花火大会、三崎港町まつり及び三浦海岸桜まつりのイベント開催支援を行った。 ・集客促進に資する事業では、海水浴場が開設されなかった三浦海岸において、令和7年度以降の新たな手法による海水浴場の開設や通年の海岸利活用について検討、海水浴場や海岸利活用に係るタイムシフトの必要性やターゲットに喜ばれるイベント等に係る実証実験として「MIURA BEACH うみあかり」を4日間開催した。（来場者数2,300人） <p>8：観光解説板整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の回遊性の向上と滞在時間の延長による観光客消費額の増加を図るため、平成30年度に策定した「ぐるっと三浦・まちなかトータルサインプラン」に基づき、油壺に所在する観光案内板を1基移設、移設先の観光案内板1基を撤去した。

構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	海業推進事業	市外向けプロモーションイベントの実施：1回 (一社)みうら学・海洋教育研究所との連携事業実施：1件	2	みうらシティ・セールス事業	教育旅行受入れ：167校 観光バスうらり駐車台数：1,052台 インバウンドツアー及び海外からの修学旅行受入れ：0件
3	みうらの魅力発信事業	三浦国際市民マラソン・みうら夜市・ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会の開催：各1回 物産展等の実施：10回	4	観光の核づくり推進事業	城ヶ島西部地区まちづくりプロジェクトの推進に必要な関係機関との調整：1件 二町谷地区でのブランディングイベントの実施支援：1件 スーパーヨットの誘致活動の実施：1件
5	観光の核づくり推進事業(道路)	道路拡幅に必要な一部用地取得の完了：1件 市道1530号拡幅整備の推進：整備率84.3%	6	地域観光振興・情報発信事業	イベント開催支援：5件 観光資源を活用した集客促進事業：1件
7	観光団体支援事業	補助金交付：1件	8	観光解説板整備事業	観光案内板の移設：1基 観光案内板の撤去：1基
9	三崎下町地区駐車場対策事業	新たな駐車場スペース確保に向けた検討：1件 臨時駐車場確保：1箇所	10	観光インフォメーションセンター管理事業	観光案内所窓口運営：3か所
11	観光の核づくり推進事業(広場)	広場設計業務の実施：0件 広場整備に必要な用地取得の完了：0件		三浦海岸海水浴場再生事業	(目標設定なし)

KPIの進捗状況

年	KPI①		KPI②		KPI③		KPIの分析
	入込観光客総数(人)	備考	観光客消費額(千円)	備考			
H29	6,311,000	実績値	14,029,501	実績値			・コロナ禍の影響があった令和2年の実績見込みを令和3年の目標とし、令和8年までの5年間でコロナ前の水準に戻すことを想定して目標を設定した。 KPI① ・令和6年の実績(内訳)は以下のとおり。 (1) 宿泊：実績275,800人 (前年比±0人 ±0.0%) (2) 日帰り：実績4,238,500人 (前年比-194,500人 -4.4%) (3) 合計：実績4,514,300人 (前年比-194,500人 -4.1%) ・観光客数は、コロナ禍により大きく減少した令和2年以降、増加傾向で推移してきたが、令和6年は、主に、三浦海岸海水浴場の不開設や、三浦海岸桜まつりの来場者数減少に伴い減少した。 KPI② ・令和6年の実績(内訳)は以下のとおり。 (1) 宿泊：実績2,454,133千円 (前年比+2,870千円 +0.1%) (2) 日帰り：実績6,227,958千円 (前年比-217,610千円 -3.4%) (3) 合計：実績8,682,091千円 (前年比-214,740千円 -2.4%) ・観光客消費額は、令和3年以降増加傾向で推移してきたが、KPI①と同様に、三浦海岸海水浴場の不開設等による観光客数減少に伴い減少した。 ・日帰り客数が減少した一方で宿泊客数は横這いとなっており、これにより、観光客数の減少率(-4.1%)よりも消費額の減少率(-2.4%)が小さくなっている。 ・一方で、KPIの達成率では、観光客数は87.6%、消費額は83.3%と、消費額の方が低くなっている。 ・KPIは新型コロナウイルス感染症感染拡大前の水準に戻すことを目指しているが、市内宿泊施設の受入人数が減少していることが、消費額の達成率が低かった要因の1つであると考えられる。
H30	6,370,900	実績値	14,034,471	実績値			
R01	6,139,600	実績値	13,115,183	実績値			
R02	4,017,500	実績値	7,170,679	実績値			
R03	4,208,200	実績値	7,153,673	実績値			
R04	4,211,100	実績値	7,888,254	実績値			
R05	4,708,800	実績値	8,896,831	実績値			
R06	4,514,300	実績値	8,682,091	実績値			
R06	5,153,000	目標値	10,422,000	目標値			
R07	5,577,000	目標値	11,620,000	目標値			
達成状況	×		×				



(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以降、増加傾向で推移してきた入込観光客数及び観光客消費額が、主に、三浦海岸海水浴場の不開設や三浦海岸桜まつりの来場者数減少に伴い減少に転じている。減少の主な要因となったイベント等への対策と継続した集客プロモーションが必要である。 <p>2：みうらシティ・セールス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い集客につながるような営業手法を実施すること。 ・インバウンドに効果的に取り組むこと。 <p>3：みうらの魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心なイベントを開催し、一年を通じて定期的に来訪するきっかけづくりを進めること。 <p>4、5、11：観光の核づくり推進事業（道路・広場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城ヶ島西部地区の魅力向上を図り、集客力を強化する必要がある。 <p>7：地域観光振興・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光行事が安定的に開催されるよう各行事を継続的に支援すること。 ・観光資源を活用した新たな取組を実施すること。 <p>12：三浦海岸海水浴場再生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年賑わいを生み出してきた三浦海岸海水浴場をはじめ、年間を通じた三浦海岸の利活用を通じて観光誘客を図ること。
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：海業推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海業発祥のまち」として、「海業」を前面に打ち出した集客プロモーション等をメディアを活用し効果的に取り組むことにより、入込観光客数の増加と観光客消費額の増加を図る。 <p>2：みうらシティ・セールス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行のみならず、一般客向けの情報も盛り込んだパンフレットを作成し、ターゲットとなる都内や県内を中心にシティ・セールスを行い、持続的かつ効果的な誘客に努める。 ・インバウンドでは、県や他自治体と協働し、台湾など日本へのリピート率の高い国や地域をターゲットに取り組む。 <p>3：みうらの魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催に当たっては、昨今の物価高騰などの影響から、従来の開催手法が難しくなっている。 ・こうしたことを受けて、今後引き続き、既存の手法に拘らない新たな手法を検討し、安全で安心なイベントの開催に努める。 <p>4、5、11：観光の核づくり推進事業（道路・広場）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒューリック株式会社が整備するふふ城ヶ島と一体で、市道1530号拡幅整備等を着実に進めることにより、地域の魅力向上と集客力の強化を図る。 <p>7：地域観光振興・情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光行事の収支状況や成果等を踏まえ、各行事への支援拡充を検討する。 ・令和7年度は、集客促進に資する事業として、夏の三浦海岸エリアを舞台に、三浦半島の周遊に繋げることを目的としたアートプロジェクトを開催する。 <p>その他：三浦海岸海水浴場再生事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度は「MIURA FUN BEACH三浦海岸」という愛称のもと、三浦海岸海水浴場の従来からの魅力（広い砂浜、電車・車でのアクセスの良さ、安全かつ家族で訪れやすい海岸）を生かしつつ、海の家がない中で「コンフォータブルステイ（快適な滞在）」の環境づくり、「食」、「ビーチスポーツ」、「音楽」及び「文化」コンテンツの提供により新たな魅力を持つ海水浴場として再生する。 ・また、秋から冬の賑わい創出イベントも実施する。
内部評価結果	
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見
		・外国人客が増加するようSNS等を活用した情報発信の取組をお願いします。

基本目標	基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」 就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。 また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。	数値目標	個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人 【R03実績】16,113人 【R04実績】15,956人 【R05実績】15,944人 【R06実績】15,814人
------	---	------	--

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07																												
3-3	魅力的な商店街づくりや中小企業の創意工夫など商工業者自身による経営努力を支援するとともに、経営安定化や雇用維持のための公的支援策を通じて地元雇用の場としての商業・工業の活力を維持・向上させます。	2025	R07																												
具体的な施策	商工サービス業の振興を図るため、地域経済の活性化を担う商工会議所への助成、建築業の人材育成を行っている建築職業訓練校への助成、リフォーム助成及び市内まちおこし団体への支援等を行います。	評価担当部課	総務部 財産管理課 経済部 観光商工課																												
事業名	住宅リフォーム助成事業 三浦市経済対策利子補給金交付事業 地域活性化事業 商工団体育成事業 中小企業退職金共済掛金補助事業	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e6e6fa;">年度</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6e6fa;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R03</td> <td>11,093</td> <td>10,376</td> <td>93.5%</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>11,517</td> <td>11,077</td> <td>96.2%</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>20,695</td> <td>12,318</td> <td>59.5%</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>17,343</td> <td>15,911</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>16,965</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>77,613</td> <td>49,682</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	R03	11,093	10,376	93.5%	R04	11,517	11,077	96.2%	R05	20,695	12,318	59.5%	R06	17,343	15,911	91.7%	R07	16,965			計	77,613	49,682	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
R03	11,093	10,376	93.5%																												
R04	11,517	11,077	96.2%																												
R05	20,695	12,318	59.5%																												
R06	17,343	15,911	91.7%																												
R07	16,965																														
計	77,613	49,682	/																												

内部評価（1次評価）						
R6年度 （実主 績な 取組 と工夫）	<p>1：住宅リフォーム助成事業 ・市内施工業者により行う対象工事費20万円以上の住宅・マンションのリフォーム工事に対し一律8万円の助成を119件行い、多数の業種にわたる中小工事業業者の事業創出を促進し、市内全体の経済活性化及び住環境の向上に努めた。</p> <p>2：三浦市経済対策利子補給金交付事業 ・10月から12月までの間に対象金融機関から融資を受けた市内中小事業者に対し、借入金の利子の一部を補助することにより、資金繰りとして融資を受けた中小企業者の経営の安定を図った。</p> <p>3：地域活性化事業 ・三崎下町商店会が中心となって開催している「MISAKIぐるぐる春まつり2024」の費用の一部を負担して、下町商店街の活性化を図った。</p> <p>4：商工団体育成事業 ・市内商工団体の経営安定と活性化を図るため、三浦商工会議所等に対して事業費の一部を補助し、商工団体の健全な育成を図った。</p> <p>5：中小企業退職金共済掛金補助事業 ・中小企業者が負担する退職金共済掛金の一部を補助し、中小企業の振興と従業員の福祉の向上及び雇用の安定を図った。</p> <p>※施策No.2の創業・事業承継等中小企業支援事業として、三浦商工会議所、地域金融機関及び神奈川産業振興センターと連携し、市内で創業又は事業承継を行おうとしている事業者に対して支援し、中小企業者数の維持・増加を図った。</p>					
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
	No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
	1	住宅リフォーム助成事業	補助金交付：119件	2	三浦市経済対策利子補給金交付事業	利子補給：66件
	3	地域活性化事業	負担金交付：1件	4	商工団体育成事業	補助金交付：2件
5	中小企業退職金共済掛金補助事業	補助金交付：46件	6			

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	法人市民税額（商業・工業）（千円）	備考					
H29	85,595	実績値					
H30	81,497	実績値					
R01	86,223	実績値					
R02	89,296	実績値					
R03	82,123	実績値					
R04	79,312	実績値					
R05	74,878	実績値					
R06	81,305	実績値					
R06	83,424	目標値					
R07	83,424	目標値					
達成状況	×						
KPIの分析	<p>KPI①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPIは、建設業、製造業、卸・小売業を合計した法人市民税で、目標値はコロナ禍前の3か年の平均値となっている。 ・令和6年度は、81,305千円となり、前年度比で6,427千円の増と過去2年の実績を上回る数値だったが、目標値と比較すると2,119千円低かった。 ・業種ごとの内訳は、下記のとおりでいずれの業種も前年度と比較し増加した。 <ul style="list-style-type: none"> 【建設業】18,461千円(1,943千円増(前年度比111.8%)) 【製造業】6,525千円(1,222千円増(前年度比123.0%)) 【卸・小売業】56,320千円(3,263千円増(前年度比106.1%)) ・3業種の有効法人数(令和6年度)は513事業所となっており、建設業、製造業は昨年度と同数だが、卸・小売業は6者増であり、法人数は概ね維持されている。 ・商工会議所の景気調査によると、令和5年度中は概ね景況感が良好傾向にあることが見て取れた。一方、令和6年度は概ね景況感が悪化傾向にあることが見て取れたため、令和6年度の業績が反映される令和7年度の法人市民税が引き続き増加するかは予断を許さない状況と考えられる。 ・特に同調査の「当面の経営上の問題点」として令和5年から「仕入・材料価格の上昇」や「管理経費の増加」が最も高い傾向が続いており、企業の利益を圧縮しているものと考えられる。 						
	<p>(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)</p>						

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	KPI達成に向けた課題
	<p>・KPIの達成には、中小企業者に対する従業員の福祉の向上や雇用の安定化に資する切れ目のないサポートが必要であり、今後も中小企業者に対する管理経費軽減につながる支援を継続して実施することが課題である。</p>
KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	今後行う改善策・手法
	<p>・中小企業の経営安定のために行う、年末等の資金繰りとして融資を受けたときの借入金の利子の一部補助や中小企業の振興と従業員の福祉向上と雇用の安定化を図るべく退職金共済契約の掛金の一部補助といった支援は、管理経費軽減の一助となるので、継続していく。</p> <p>・商工会議所の中小企業相談所と連携し、創業や事業承継等の取組を通して商工業者の維持拡大を目指していく。</p> <p>(施策No.2の創業・事業承継等中小企業支援事業として)</p> <p>・三浦商工会議所、地域金融機関及び神奈川産業振興センターと連携し、創業と事業承継に関する相談窓口の充実を図るとともに、セミナーなどの開催や情報提供を積極的に行う。</p> <p>・神奈川県信用保証協会の保証を受けて神奈川県中小企業制度融資を受けた事業者に対し、信用保証料の一部を助成する信用保証料補助については、中小企業の経営健全化、事業の拡大、雇用の創出及び継続のため、引き続き実施していく。</p>
内部評価結果	
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見
		・主な意見なし

基本目標	<p>基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」</p> <p>就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。</p> <p>また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。</p>	数値目標	<p>個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人</p> <p>【R03実績】16,113人</p> <p>【R04実績】15,956人</p> <p>【R05実績】15,944人</p> <p>【R06実績】15,814人</p>
------	--	------	---

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07		
3-1	<p>漁港整備や経営支援、水産業従事者への各種支援を通じて、基幹産業である水産業の活力を維持し、市内における水産物の取扱量を維持・拡大します。</p>	2025	R07		
具体的な施策	<p>市内漁港の取扱金額を維持し、漁業及びその関連産業を活性化するため、安全・安心な安定供給とともに、三崎ブランドの価値向上や地域の活性化を目指し、国・県・関係団体と連携し、三崎漁港の高度衛生管理化を進めます。また、三崎漁港における高度衛生管理化を生かし、漁船誘致活動に取り組むとともに安全で高品質な三崎漁港の水産物の輸出促進を図ります。</p>	評価担当部課 経済部 海業水産課 市場管理事務所			
事業名	<p>市場高度衛生管理化対策事業 三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業 三崎漁港整備事業 市営漁港整備事業 水揚入(出)港船対策事業 三浦市漁船建造等資金利子補給金交付事業 藻場保全事業（※R06から開始）</p>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率
		R03	90,196	52,070	57.7%
		R04	206,915	68,775	33.2%
		R05	387,695	187,520	48.4%
		R06	114,354	47,703	41.7%
		R07	269,304		
		計	1,068,464	356,068	

内部評価（1次評価）								
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫	<p>1：市場高度衛生管理化対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度衛生管理化対策のための整備が完了した低温卸売市場及び沿岸卸売市場については、高品質な冷凍マグロ及び沿岸水産物の安定供給のため、関係機関と連携して高度衛生管理に適合した施設の管理運営に継続して取り組んだ。 ・令和6年度は共同加工場の設計に着手する予定であったが、関係する事業者の移転交渉を先行するととなり、着手しなかった。 <p>2：三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かながわブランド」に登録された「三崎黒潮キンメ」の特徴を伝えるPR短編動画資料を作成して宣伝することで、キンメダイの輸出促進と「三崎」ブランドの浸透を図った。 ・地域の衛生管理の意識を向上させるとともに、輸出促進や国内取引の推進に向けた基礎的な体制の構築を資することを目的とし講習会を開催した。 <p>4：市営漁港整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毘沙門漁港について、安全で円滑な漁業が行える環境を整備するための浚渫工事の実施に先立ち、浚渫工事の調査実施設計業務委託を行った。 <p>5：水揚入(出)港船対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠洋まぐろはえ縄漁船に対する水揚奨励金の交付を引き続き実施したほか、市内水産業界と連携して遠洋まぐろ漁船の基地港である富山県入善町及び岩手県宮古市へ表敬訪問を行い、船主に対し三崎市場での水揚についてのPRを行った。 ・令和6年度の三崎漁港での遠洋まぐろはえ縄漁船の水揚隻数は、令和5年度より1隻減の13隻となった。 <p>7：藻場保全事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食害生物の除去や母藻の設置などを行う3組織を補助し、磯焼けの改善を図った。 ・日本テレビ放送網株式会社から三浦半島4市1町へ企業版ふるさと納税を活用した寄附を受け、二酸化炭素の吸収源である藻場の再生活動を行った。 							
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果							
	No.	事業名	主な取組・成果		No.	事業名	主な取組・成果	
	1	市場高度衛生管理化対策事業	施設建築に係る移転補償費算定：1件		2	三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業	三崎黒潮キンメのPR動画の作成：1件 衛生管理に関する講習会：1件	
	3	三崎漁港整備事業	水産物供給基盤機能保全事業：1箇所 防災対策支援事業：1箇所		4	市営漁港整備事業	毘沙門漁港2号船揚場調査設計業務委託：1件	
5	水揚入(出)港船対策事業	三崎漁港で水揚する遠洋まぐろはえ縄漁船の隻数：13隻 県外漁船の誘致活動：2回		6	三浦市漁船建造等資金利子補給金交付事業	漁船建造等資金利子補給：4件		
7	藻場保全事業	藻場保全活動組織への支援：3件 藻場再生活動の取組：2件						

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	市内漁港水揚額(千円)	備考					
H29	13,475,515	実績値					<p>(千円)</p> <p>16,000,000 14,000,000 12,000,000 10,000,000 8,000,000 6,000,000 4,000,000 2,000,000 0</p> <p>H29 H30 R01 R02 R03 R04 R05 R06 R07</p>
H30	12,833,430	実績値					
R01	12,164,341	実績値					
R02	9,426,649	実績値					
R03	9,117,889	実績値					
R04	11,986,532	実績値					
R05	9,361,524	実績値					
R06	9,351,504	実績値					
R06	13,426,000	目標値					
R07	13,426,000	目標値					
達成状況	×						
KPIの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・KPIで設定している三崎水産物地方卸売市場の水揚金額と市営漁港の水揚金額とを合計した市内漁港取扱金額は、令和6年は93億5,150万円、目標値134億2,600万円を40億7,450万円、30.3%下回った。 ・KPI(平成28年から平成30年の平均値)と比較すると、沿岸・沖合漁業では3,245万円、3.5%上回ったものの、水揚と陸送品を合わせた遠洋漁業の冷凍品では9億5,685万円、31.7%、上場品の冷凍品では30億8,876万円、34.3%下回る結果となり、冷凍品の取扱額がKPI目標値を下回った主な要因である。 ・冷凍品は、取引量が前年比で6.8%の増となっている。円安の影響もあり東南アジアなどで原材料としての輸出量が増えたことが影響していると考えられるが、取引単価自体は微減しているため、取扱金額については0.9%の増にとどまった。 ・沿岸・沖合漁業では、取引量は前年比で10.2%の増となったものの、イカ類、マアジ、ブリといった比較的取扱量の多い魚種で取引単価が減少しており、取引金額は前年比で5.8%の減となっている。 ・目標達成のためには、主力商品である冷凍マグロの取扱量の増加を目指すとともに、市内水産物の三崎魚市場への集約や、地元水産物のブランド化及びPRを行うことにより、市内水産物の取扱量の増加と需要の拡大を図る必要がある。 						<p>(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)</p>

KPI達成に向けた課題と今後の改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <p>1：市場高度衛生管理化対策事業 ・高度衛生管理化対策を進めるため、共同加工場及び超低温冷蔵庫建設工事が遅れている。 ・高度衛生管理化対策のための整備が完了した低温卸売市場及び沿岸卸売市場については、より適切な管理運営に努め、今後もその価値を維持していくことが課題である。</p> <p>2：三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業 ・三崎漁港の水産物の輸出拡大を目指すため、海外マーケットにおける三崎ブランドの認知度が低いことによる輸出の大幅な増となっていない。 ・海外の衛生管理基準に対応するため、漁業関係者の衛生管理意識の向上が課題である。</p> <p>5：水揚入(出)港船対策事業 ・水揚げ量が減少しているため水揚額も増加していない点が課題となっている。</p> <p>6：三浦市漁船建造等資金利子補給金交付事業 ・漁業者の新船建造や中古船購入による漁獲量向上に寄与するための、漁業者に対する制度の利用向上が課題である。</p> <p>7：藻場保全事業 ・近年大きな問題となっている磯焼けにより、沿岸の漁獲対象物が減少している。</p>
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>1：市場高度衛生管理化対策事業 ・共同加工場及び超低温冷蔵庫建設のため、関係者との調整をスピード感を持って進めていく。 ・高度衛生管理化対策のための整備が完了した低温卸売市場及び沿岸卸売市場については、高品質な冷凍マグロ及び沿岸水産物の安定供給のため、引き続き関係機関と連携して高度衛生管理に適合し、施設の価値を発揮できるよう適切な管理運営に取り組む。</p> <p>2：三崎漁港におけるグローバルブランディング戦略策定・推進事業 ・インターナショナルシーフードショーに出展し、これまで作成してきたPR資材を活用しながら「三崎」の水産物を宣伝、国際的な三崎ブランドの認知度向上に努め輸出増に寄与する。 ・引き続き、漁業関係者を対象とした衛生管理講習を行い輸出増加の基盤を強化する。</p> <p>5：水揚入(出)港船対策事業 ・水揚げ金額向上のため、三崎漁港で水揚げした遠洋まぐろはえ縄漁船への奨励金を引き続き交付するほか、卸売団体と共同で基地港への表敬訪問を実施し、三崎漁港における冷凍マグロの水揚量の増加を図る。</p> <p>6：三浦市漁船建造等資金利子補給金交付事業 ・漁船建造等に係る設備投資をしやすい環境の整備について関係機関と連携しながら取り組む。</p> <p>7：藻場保全事業 ・引き続き、食害生物の除去や母藻の設置などを行う活動組織を補助し、磯焼けの改善を図る。</p>
内部評価結果	
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。

外部評価（2次評価）		
施策の評価	3 目標は全て未達成ですが、課題改善の取組が明確です。	主な意見
		・引き続き水揚隻数が増加するような取組をお願いします。

基本目標	<p>基本目標1：「三浦市における安定した雇用を創出する」 就職を契機に市外に転出することの多い若者や、転入しようとする人たちが、少しでも多く市内で就職することができるよう、観光業・農業・漁業など市内の主要産業の活性化を図り、雇用の場を確保します。 また、二町谷地区等への企業誘致により、新たな雇用の創出を図ります。</p>	数値目標	<p>個人市民税納税義務者数（給与所得者、営業等所得者、農業所得者の数）【R07目標値】15,500人 【R03実績】16,113人 【R04実績】15,956人 【R05実績】15,944人 【R06実績】15,814人</p>
------	--	------	---

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07																												
3-2	<p>良好な農地の整備・維持管理、流通システム環境整備、ブランド開発支援等により農業生産性を維持・向上させます。</p>	2025	R07																												
具体的な施策	<p>農業産出額を維持するため、畑地かんがい施設、農道、排水路の総合的な整備や有害鳥獣被害対策への取組などにより営農環境の改善を図るとともに、三浦市農業後継者対策実行委員会が実施する農業者と都市在住者との農業体験型交流イベントの開催を支援し農業後継者不足の改善を図ります。</p>	評価担当部課	経済部 農産課																												
事業名	<p>三浦野菜品種改良等支援事業 有害鳥獣被害対策事業 農業基盤整備事業 農業後継者対策事業 農業の多面的機能促進事業</p>	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #e6f2ff;">年度</th> <th style="background-color: #e6f2ff;">事業費予算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6f2ff;">事業費決算額 (千円)</th> <th style="background-color: #e6f2ff;">予算執行率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">R03</td> <td style="text-align: center;">47,493</td> <td style="text-align: center;">44,051</td> <td style="text-align: center;">92.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R04</td> <td style="text-align: center;">45,170</td> <td style="text-align: center;">41,444</td> <td style="text-align: center;">91.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R05</td> <td style="text-align: center;">49,977</td> <td style="text-align: center;">49,819</td> <td style="text-align: center;">99.7%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R06</td> <td style="text-align: center;">56,291</td> <td style="text-align: center;">54,627</td> <td style="text-align: center;">97.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">R07</td> <td style="text-align: center;">62,343</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">261,274</td> <td style="text-align: center;">189,941</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> </tbody> </table>	年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率	R03	47,493	44,051	92.8%	R04	45,170	41,444	91.8%	R05	49,977	49,819	99.7%	R06	56,291	54,627	97.0%	R07	62,343			計	261,274	189,941	/
年度	事業費予算額 (千円)	事業費決算額 (千円)	予算執行率																												
R03	47,493	44,051	92.8%																												
R04	45,170	41,444	91.8%																												
R05	49,977	49,819	99.7%																												
R06	56,291	54,627	97.0%																												
R07	62,343																														
計	261,274	189,941	/																												

内部評価（1次評価）						
R 6 年 度 の 主 績 な 取 組 と 工 夫	<p>1：三浦野菜品種改良等支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産を取り巻く環境が厳しくなる状況下で、消費者の志向を反映した作物づくり、栽培技術の向上、気象状況の変化、コスト削減、環境に優しい農業等が求められる中、三浦市の独自品種の改良と野菜品質向上のための技術に関して、三浦市農業協同組合が総合的に研究していることを支援し、本市農業の振興に努めた。 ・青首大根の有望品種の選定、三浦野菜品種改良、新品目野菜導入試験、交配用みつ蜂の配置が行われた。 <p>また、三浦野菜認知度向上・消費拡大プロジェクトを実施し、レシピ開発等に取り組んだ。 品種改良等試験件数：3件（早春キャベツ、かぼちゃ果実の肥大化、小玉すいか）</p> <p>2：有害鳥獣被害対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内各地で発生しているアライグマ及びハクビシン等による農産物への被害、生活圏への侵入による生活被害及び地域生態系への環境被害に対応するため、三浦市農業協同組合と連携し捕獲檻の貸出を実施した。捕獲実績として、アライグマ85件、タイワンリス367件、ハクビシン34件、合計処理件数486件となった。 <p>※令和5年度479件→令和6年度486件 前年度比7件増</p> <p>3：農業基盤整備事業</p> <p>(1)農とみどりの整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県費補助対象事業として、高円坊字一ノ坪の農道舗装整備を行い、営農環境の向上を図った。（L=80m） <p>(2)初声町下宮田地区畑地帯総合整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営事業として初声町字水余地区で実施されている排水路整備の実施にあたり、事業費の一部を負担し、農業生産性の向上を図った。（排水路整備：L=52.1m） <p>(3)諸磯小網代地区畑地帯総合整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県営事業として、三崎町諸磯及び小網代地区内約30haの土地改良事業区域において、畑かんがい用水設備、農道及び排水路等を総合的に整備するため、三浦市諸磯小網代土地改良区が実施している土地改良事業に対して補助を行い、事業の促進に努めた。（畑地かんがい用管路布設：L=464.3m、舗装工：L=359.2m） <p>4：農業後継者対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で開催出来なかった農業体験型交流イベント（男性農業者と女性参加者の交流の場を提供）を令和4年度から再開。令和6年度からは、名称を「アグリde恋愛」に統一して開催し男性5人、女性4人に参加いただき交流を深めることができた。 <p>その他：トップセールス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦市農業協同組合とともに、令和7年3月に東京青果株式会社、東京荏原青果株式会社、東京シティ青果株式会社を訪問し、流通販路の拡大を目指してトップセールスを行った。 <p>その他：食品開発及び販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手企業及び三浦市農業協同組合と連携し、三浦市特産である春キャベツ及び大根を使用した商品（ハンバーグ）を販売し、三浦野菜の販路拡大に務めた。 <p>また、今年度、新たに京急グループ、農協、おつけもの慶と連携し商品開発した「三浦の大根使用カクテキ」を京急ストア、もとまちユニオンにて販売を行った。 ※キャベツを利用したハンバーグ：令和5年度285,026食→令和6年度206,372食 前年度比78,654食減、大根を利用したハンバーグ：令和5年度65,940食→令和6年度101,140食 前年度比35,200食増 三浦の大根使用カクテキ 約900食</p> <p>その他：販路拡大等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三浦野菜の販路拡大に向けた取り組みとして、北海道へ早春キャベツ、大根、カリフラワーの出荷を実施したほか、台湾へ大根、キャベツの輸出を行った。今後も三浦市農業協同組合や関係団体と連携し輸出を含め、販路の拡大に務める。 					
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果					
	No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
	1	三浦野菜品種改良等支援事業	品種改良等試験：3件	2	有害鳥獣被害対策事業	対象有害鳥獣処理件数：486件（アライグマ：85件、タイワンリス：367件、ハクビシン：34件）
3	農業基盤整備事業	高円坊字一ノ坪地区農道舗装整備：L=80m 初声町下宮田字水余地区畑地帯排水路整備：L=52.1m 諸磯小網代地区畑地帯総合整備畑地かんがい用管路布設：L=464.3m 農道舗装整備：L=359.2m	4	農業後継者対策事業	農業者交流イベントの開催：1回	
5	農業の多面的機能促進事業	農地維持活動の取組面積：40,035a	6			

KPIの進捗状況							
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI推移グラフ
	農業産出額 (千円)	備考					
H29	9,116,629	実績値					
H30	5,267,403	実績値					
R01	5,089,707	実績値					
R02	6,058,325	実績値					
R03	5,249,001	実績値					
R04	6,158,181	実績値					
R05	5,977,551	実績値					
R06	8,037,061	実績値					
R06	6,442,000	目標値					
R07	6,442,000	目標値					
達成状況	○						
KPIの分析	<p>・令和6年度は、気候変動の影響等から、生育及び品質不良が増え例年通りの栽培が難しい状況により、出荷量は減少したものの、全国的に野菜の品薄状態が続いたことから、相場が上がり高単価での販売となった。</p> <p>・主要品目の状況だが、今期のダイコンは、猛暑や干ばつ、集中豪雨等の影響からサイズが小ぶりとなり出荷量は減少したが、全国的にも品質、生育が良くなかったことで、逆に取扱高は増加した。</p> <p>・キャベツも同様に他産地も含め、干ばつや高温の影響を受け小玉傾向になるなど生育の遅れから、出荷量が減少し品薄状態が続き、取扱い数量が減少したことにより高値で推移した。</p> <p>・夏野菜、特にスイカは出荷当初の厳しい販売状況だったが、その後、天候に恵まれ販売状況は安定したものの、販売実績は前年度比93.8%に留まった。</p> <p>・また平成30年度から始めたインターネットによる通信販売については、販売品目を増やしたことにより前年度比108.9%と売り上げを伸ばした。</p> <p>・三浦野菜全体としては、冬春野菜は約20億4,743万円の増、夏野菜は約886万円の減、年間では約20億3,857万円の増となった。</p> <p>・キャベツ販売実績(約1,107,953千円増)、ダイコン販売実績(約918,684千円増)、スイカ販売実績(約39,296千円減)、カボチャ販売実績(約29,269千円増)、カリフラワー販売実績(約15,814千円増)、通信販売(約919千円増)などにより、前年度から農業産出額が増加した。(約2,059,511千円増)</p>						<p>(※R06からR07の数値(点線)は、目標値となります。)</p>

KPI達成に向けた改善策・手法と 今後の達成に向けた課題	KPI達成に向けた課題 1：三浦野菜品種改良等支援事業 ・露地野菜一大産地としての生産性、市場における優位性の維持並びに多様化する消費者の嗜好に対応するため、次代を担う農作物の開拓、栽培技術の向上、環境保全型農業の推進及び気候変動対応等に向けた取組 2：有害鳥獣被害対策事業 ・近年、有害鳥獣の捕獲数が増加傾向にあり、農作物被害だけに限らず生活環境被害も増えている。また、市域を越えて被害が拡大していることから、市単独での対応が難しい。 その他：食品開発及び販売 ・農協と連携し食品会社と三浦野菜を使用した商品開発を行い商品化し現在も販売は行っているが、新たな需要を開拓し三浦野菜の消費拡大させるためには、農産加工食品等（中食、外食、お土産向け）の開発に取組む必要がある。 その他：販路拡大への取組 ・長年、取組んでいる課題であり、課題解消に向け市場関係者への広報活動など毎年行い新たな販路の開拓に取組んでいるが、現状では厳しい状況にある。
	今後行う改善策・手法 1：三浦野菜品種改良等支援事業 ・三浦野菜の品質の優位性を維持することは、市場での高値での販売、産地間競争に負けないことであり、そのためには、生産性、栽培技術を向上させることや将来を見据えた新品種の開発等を絶え間なく試験・研究を行っていくことが不可欠であることから継続して支援を続ける。 2：有害鳥獣被害対策事業 ・有害鳥獣対策として、捕獲数が多い方々へ積極的に協力要請を行い、計画的防除の拡大に努めるほか、農協、猟友会並びに県や近隣市町村との連携を強化し有害鳥獣の適切な駆除に取り組む。 その他：食品開発及び販売 ・農協と連携し食品企業や関係団体に対して三浦野菜を活用した農産加工食品の開発提案を行っていくほか、農産加工食品の製造・販売を考えている又は興味のある農家などに対しは、加工業に必要な設備や関係法令、国、県の補助事業の活用など関係機関と連携し必要な支援を行っていく。 その他：販路拡大への取組 ・販路拡大策については、農協と連携し毎年トップセールスを実施しているが、今まで以上に農協が連携し販路拡大に努めるほか、地方の市場関係者への売込みの強化を行う。また地場産消費拡大協議会農産分科会においても販路拡大の実現に向けた取組の検討を行っていく。
内部評価結果	
施策の評価	5 目標達成しています。

外部評価（2次評価）	
施策の評価	5 目標達成しています。
主な意見	・単価の向上と販路拡大が期待できる加工食品の事業に力を入れた取組をお願いする。

基本目標	基本目標達成を支える基盤整備	数値目標	-	-
			-	-

施策No.	基本的方向	評価実施年度	R07
16	窓口における来庁者に対する迅速かつ丁寧な対応を実践します。 インターネットをはじめとするITツールやその他各種の業務システムの整備とその有効活用により、業務管理と労働力にかかる費用を抑制します。	2025	R07
具体的な施策	三浦市DX推進計画に基づき、デジタル技術を活用した取組を実施します。 マイナンバーカードの読み取りや職員が申請書作成を行う「書かない窓口」システムを導入することで、手続きに要する時間を短縮し、住民サービスと業務効率の向上を図ります。併せて、既存住民記録システムとの連携を構築し、入力業務の効率化と作業時間の短縮を図ります。 また、文書管理の様々な課題を解決し、より効率的な業務体制を実現するため、文書管理・電子決裁システムを導入します。	評価担当部課	政策部 デジタル課
事業名	DX推進事業	事業費	
		年度	事業費予算額 (千円)
		事業費決算額 (千円)	予算執行率
		R03	
		R04	
		R05	83,191
		R06	18,975
		R07	33,194
		計	135,360
			80,389
			96.6%
			90.2%
			97,506

内部評価（1次評価）					
R 6 年 度 の 主 な 取 組 と 工 夫	1：DX推進事業 ・三浦市デジタルトランスフォーメーション（DX）推進計画に基づき、デジタル技術を活用した取組を実施した。 ・昨年度導入した住民異動受付支援システム「書かない窓口」を本庁に続き、南下浦出張所及び初声出張所へ展開し、さらなる住民サービスと業務効率の向上を図った。				
	構成事業の令和6年度の主な取組と成果				
No.	事業名	主な取組・成果	No.	事業名	主な取組・成果
1	DX推進事業	DX推進事業に関するシステム（書かない窓口、文書管理・電子決裁、LINE、キャッシュレス決済、AI・RPA）の運用：5件 AI-OCR実施数：2件 RPAシナリオ配布数：4件 ノーコードツールに関する庁内向け研修会の開催：1回	2		
3			4		
5			6		

KPIの進捗状況										
年	KPI①		KPI②		KPI③		KPI④		KPI⑤	
	転入手続きに要する時間(分)	備考	転居手続きに要する時間(分)	備考	転出手続きに要する時間(分)	備考	住民異動に係るサービスの利用者数(人)	備考	書かない窓口システムへの住民満足度(%)	備考
H29	-		-		-		-		-	
H30	-		-		-		-		-	
R01	-		-		-		-		-	
R02	-		-		-		-		-	
R03	-		-		-		-		-	
R04	-		-		-		-		-	
R05	49	実績値	41	実績値	19	実績値	191	実績値	97	実績値
R06	47	実績値	40	実績値	18	実績値	1,455	実績値	99	実績値
R06	40	目標値	32	目標値	16	目標値	3,000	目標値	75	目標値
R07	38	目標値	30	目標値	15	目標値	3,500	目標値	80	目標値
達成状況	×		×		×		×		○	
KPIの分析	<p>・書かない窓口システム導入後における転入、転居、転出手続きに要する時間は47分、40分、18分で、すべての手続きにおいて、目標は未達成であった。</p> <p>・昨年度の実績と比べると、すべての手続きにおいて、わずかではあるが、より時間を短縮することはできた。</p>						<p>サービスを利用しない場合を含む住民異動届作成総数自体が想定を下回ったため、相対的に利用者数も目標を下回った。</p>		<p>満足度調査回答者は昨年度より増えたが、依然として不満とする回答はなく、サービス全体を通して高い満足度を維持できている。</p>	
KPI達成に向けた改善策・手法	<p>KPI達成に向けた課題</p> <p>・書かない窓口は転出証明書等の読み取りや住民情報複製データの活用により、職員がシステムにて住民異動届書を作成するとともに関連する手続きの申請書の作成も行うため、住民は本人確認と必要最低限の項目を所定用紙に記入するだけで、何度も同じ情報を書き直すことなく各種手続きができるようになる。そのメリットがある一方で、対応する職員は一人の住民の手続きが終わるまで付きっきりになってしまう。そのため、窓口が混雑した際には、従前のような複数の住民の要件を聞き取り、並行して手続きを進めるといったやり方が出来なくなることで、住民の待ち時間が増加してしまうことがある。それを避けるため、特に様々な手続きの受付をする出張所において、書かない窓口を利用せず従前のやり方を選択することが多く、利用者数未達の要因の一つとなっている。</p>									
	<p>今後行う改善策・手法</p> <p>・基幹システムの標準化により、令和8年度までに転出証明書に記載されることとなる二次元コード(QRコード)の読み取りを可能とするシステム改修を行うことで、転入手続きの更なる処理時間の短縮及び事務処理の効率化をすすめる。</p> <p>・それに伴い、サービス利用率も向上すると考えている。</p>									

内部評価結果	
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。

外部評価（2次評価）			
施策の評価	4 目標は一部達成し、課題改善の取組も明確です。	主な意見	・主な意見なし